

2025年1月22日

小牧市の健康増進施設「ヘルスラボ・こまき」に 住友理工のフレイル評価アプリを導入 ～フレイルチェックシステムを活用した市民の健康増進を支援～

住友理工株式会社（本社：名古屋市中村区、代表取締役 執行役員社長：清水和志）は、2025年1月に愛知県小牧市にオープンした健康増進施設「ヘルスラボ・こまき」にて、当社のフレイル[※]チェックシステムが導入されたことをお知らせいたします。このたび、同施設内に常設されたことで、測定会を待つことなく皆さまにフレイルチェックを測定いただくことが可能となりました。



開所式テープカットの様子



施設内でのクロステストの様子

「ヘルスラボ・こまき」は、子どもからお年寄りまで、全世代を対象に健康づくりやフレイル予防に取り組むための気づきやきっかけを提供する施設です。また、社会課題の解決策を考える民間企業と市民をつなぐ、健康づくりに関する共創の拠点を目指しています。施設内には、血圧・圧力測定をはじめとしたフレイルチェック各種測定エリアや、情報・交流エリア、イベント開催や講座の実施が可能なフリースペースが設けられています。フレイルチェックでは、当社が開発したフレイルチェックシステムおよびSRセンサ技術を活用したクロステスト（前後左右への重心移動を測るテスト）が導入されています。

当社は、2021年1月に小牧市と締結した「健康づくり等の推進に係る包括連携協力に関する協定」に基づき、同年10月から当社のフレイルチェックシステムを活用した「フレイルチェック測定会」を同市と協働で実施しています。これまでに、同市に暮らす60歳以上の市民約540名に対して、フレイル予防の普及啓発および気づきの支援を行ってきました。

フレイル評価の内容 フレイル判定項目+3mTUG・クロステスト+フィードバック= **約40分**

フレイルチェックシステム

フレイル評価の内容を専用アプリに入力
個人ごとのデータを保存、定期的に測定を繰り返すことで
フレイルの状態を経過観察できるシステムです

タブレット

入力画面

結果シート

結果のフィードバックが容易
(結果シート出力、定期的測定結果の比較)

簡単にフレイル判定が可能
(九次式フレイル判定基準使用)

評価アプリ 測定データの集積が可能

サブデータベース

フレイルチェックシステムの概要

住友理工グループは、経営ビジョンで描いたありたい姿「理工のチカラを起点に、社会課題の解決に向けてソリューションを提供し続ける、リーディングカンパニー」を実現すべく、新たな事業共創に向けて自治体や企業・市民団体等との協働に積極的に取り組んでいます。今後も、グリーンで快適な未来社会に向けて、コアコンピタンスである「高分子材料技術」「総合評価技術」を起点に、会社の枠を超えた連携によって健康で持続可能なまちづくりの実現に貢献してまいります。

以上

※ フレイルとは、加齢とともに身体機能や認知機能が低下して虚弱となった状態のこと。ひとたび要介護状態に陥ると改善が極めて難しくなることから、フレイル予防の考え方では、フレイルの段階で早期に発見・把握することにより、適切な介入・支援で健康状態を改善し、健康寿命を延ばすことを目指す。

リリースに関するお問い合わせ先
住友理工株式会社

広報IR部 / 〒450-6316 名古屋市中村区名駅一丁目1番1号 JPタワー名古屋
tel 052-571-0259 e-mail product.info@jp.sumitomoriko.com <https://www.sumitomoriko.co.jp/>